

救急救命士の資格と指示が必要な処置一覧

認定資格		救命士 (認定なし)	薬剤投与	気管挿管	ビデオ喉頭鏡	処置範囲拡大
指示が必要な処置						
心肺 停止時	声門上気道デバイス使用(例:LT)	○	○	○	○	○
	静脈路確保(CPA後)	○	○	○	○	○
	アドレナリン投与		○			○
	気管挿管			○	○	
	ビデオ喉頭鏡による気管挿管				○	
心肺 停止前	血糖測定					○(包括可)
	ブドウ糖投与					○
	静脈路確保(CPA前)					○

【注意点】

特定行為の指示要請など、オンライン医師との通信の際には、所持している認定資格を正確に伝えること。

救急救命士認定資格の要件

資 格	認 定 要 件(全ての要件を満たすこと)
薬剤投与	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤投与病院実習を修了している ・救急業務従事期間2年以上又は2000時間以上の活動経験を有する者 ・岐阜県MC協議会が定める薬剤投与修了実習を修了し認定証交付を受けている者
気管挿管	<ul style="list-style-type: none"> ・声門上デバイスの実施が5例以上ある、又は直近1年で3例以上ある ・気管挿管病院実習を修了している(30症例) ・岐阜県MC協議会が定める気管挿管認定証交付を受けている者
ビデオ喉頭鏡 による気管挿管	<ul style="list-style-type: none"> ・気管挿管の認定証交付を受けている ・追加講習を受講している(第39回救急救命士国家試験以降の合格者を除く) ・ビデオ喉頭鏡病院実習を修了している(3症例) ・岐阜県MC協議会が定めるビデオ喉頭鏡修了実習を修了し認定証交付を受けている者
処置範囲拡大 ・血糖測定 ・ブドウ糖投与 ・静脈路確保(CPA前)	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤投与の認定証交付を受けている ・直近のおおむね2年間で静脈路確保が10症例以上がある ・岐阜県MC協議会が定める新処置に係る追加講習を修了し認定証交付を受けている者